

どうする！人口減少NIPPON

～“幸福度日本一”の地で考える～

全国44
経済同友会共催
**第36回
全国経済同友会
セミナー
(福井大会)**

4月18～19日、北陸新幹線金沢から敦賀までの延伸に沸く福井市において、第36回全国経済同友会セミナー福井大会が開催された。世界に先んじて少子高齢化社会に突入、社会保障政策における将来不安から消費が抑えられ、労働力不足も顕在化する日本は人口減少下で何をすべきか。人口減少をどう抑制し、社会をどう活性化させていくのかをテーマにセッションを展開した。



福井は子育て・教育・女性雇用などで高い評価を得ており、(一財)日本総合研究所による調査で過去10年間「幸福度日本一」の評価を受けている地だ。地方や企業の磨き方のヒントを得ようと、活発な議論が展開された。

初日は、山下良則経済同友会副代表幹事・全国経済同友会セミナー企画委員長による開会挨拶に続き、杉本達治福井県知事の来賓挨拶、砂塚隆広金沢経済同友会代表幹事による被災地報告があった。続く第1セッションでは、「人口減少社会の将来展望と課題」をテーマに、増田寛也日本郵政取締役兼代表執行役社長が問題提起を行い、専門家も交えたパネルディスカッションが行われた。第2セッションでは、エンゲージメントの観点から人口減少時代における企業の役割・あり方を考えた。2日目の第3セッションでは、「今、あらためて地域創生を考える」と題し、東京一極集中や地方創生と人口減少対策を人材育成、子育て・まちづくり、DX推進の三つの切り口から議論を行った。

セッション終了後には、西田正法曹洞宗大本山永平寺副監院による特別講演「貧から貧へ～生き方の転換～」も行われ、盛況のうちに幕を閉じた。次回は2025年4月17・18日の両日、広島での開催を予定している。



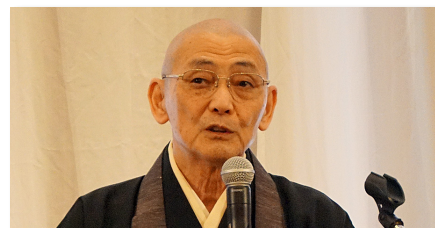
開会挨拶する山下良則副代表幹事



問題提起する増田寛也日本郵政社長



来賓の杉本達治福井県知事



西田正法氏による講演

セッションプログラム

(所属・役職は開催時)

■第1セッション：人口減少社会の将来展望と課題

【議長】 地下 誠二 経済同友会 幹事／地域共創委員会 委員長(日本政策投資銀行 取締役社長)

【問題提起・パネリスト】

増田 寛也 経済同友会 会員(日本郵政 取締役兼代表執行役社長)

【パネリスト】

青柳 俊彦 福岡経済同友会 代表幹事(九州旅客鉄道 取締役会長)

山崎 史郎 内閣官房参与(社会保障・人口問題)／内閣官房 全世代型社会保障構築本部事務局 総括事務局長

■第2セッション：人口減少時代の企業経営を考える～エンゲージメントの観点から～

【議長】 加藤 博 中部経済同友会 代表幹事(ノリタケカンパニーリミテド 取締役会長)

【パネリスト】

林 正博 福井経済同友会 代表幹事(福井銀行 取締役会長 兼 代表執行役)

松江 英夫 経済同友会 幹事／経済・財政・金融 社会保障委員会 委員長(デロイト・トーマツグループ 執行役/デロイト・トーマツインスティテュート 代表)

堀川 大介 日本電気 執行役 Corporate EVP 兼 CHRO 兼 ピープル&カルチャー部門長

■第3セッション：今、あらためて地域創生を考える

【議長】 宮部 義幸 関西経済同友会 代表幹事(パナソニック ホールディングス 取締役 副社長執行役員)

【パネリスト】

小松 洋介 仙台経済同友会 幹事(VENTURE FOR JAPAN 代表理事)

宮澤 一洋 北海道経済同友会 副代表幹事(ウェルネット 取締役社長)

鷲頭 美央 福井県副知事